

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表: 2021年 5月 14日

事業所名 JSS水夢八尾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・活動ごとに使用場所を設定し、場所の境に壁や衝立、マットを用意する等の空間の構造化を行っている ・身体の使い方等の経験のため、階段を設置している。	・バリアフリー化の面では階段について課題があるかもしれないが、必要に応じて活動場所の変更等も検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・日頃の様子を日々のミーティングで共有し、そこでの情報も参考に検討し、目標設定を行っている。設定された目標や振り返りの内容をミーティング等で共有している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・毎日のミーティングで利用児やその保護者の様子を共有し、その情報なども参考にアセスメントを複数の指導員で行い、計画作成を行っている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページにてアンケート結果を公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	・事業所外の講師や本社の事業所管理役員に助言を得て、業務改善に繋げている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・年に数回外部講師による研修と、事業所内の研修を実施	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・日々の送迎時等に保護者の意見やニーズを聞いて作成している ・聞き取りや行動観察、検査結果等から、管理者と指導員で情報を出し合い検討して作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・アセスメントのひとつに知能検査・発達検査を必要に応じて実施している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・毎日のミーティングで利用児やその保護者の様子を共有し、その情報なども参考にしたり、保護者からの聞き取り等も含めてアセスメントし、必要な項目を選択し、目標を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・計画立案後、保護者に説明を行ったのち、スタッフに共有し、計画の確認を日々行いながら計画に沿った支援を心掛けている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・月案を立案し、制作、運動、やり取り遊び等様々な活動を取り入れている。	・子どもたちが楽しいと感じれる活動を常に考え、個々が持つ力を存分に発揮できるような提案の仕方を行っていきたい
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個別から集団で力の発揮が出来るよう、個々に合わせて目標設定を行ったり、児の状況に合わせた計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・開始前のミーティングでその日の活動内容や前回利用の際にあったことを記録を確認しながら共有し、支援内容や役割確認をしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・共有事項を確認できるミーティング内容の記録を各スタッフが確認するようにし、支援終了後に再度振り返りをしたりしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	50%	50%	・記録内容を端的に捉え、検証しやすい様式を作成中	
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	50%	・サービス担当者会議の実施が今までにないが、当事業所の指導員間で支援の話し合いは行っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・年に数回、作成した計画書を参考に児の目標等を伝え、連携を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・利用児の就園就学先に向けて紹介状を作成している ・就園就学先の園や学校と連携を行い、計画書を参考に児の目標を共有したり、当事業所での様子や園、学校での様子を共有し、支援の方向性を検討している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		・地域の会議があれば参加したい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時に児の様子を保護者と共有し、保護者との共通理解に繋がるよう心掛けている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%		・ペアトレという形式まで取れていないが、個別相談を随時受けて、保護者の対応力向上を図ろうと努めている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・お迎えの時間や希望する保護者に個別相談等で相談に応じられるよう心がけている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		・コロナウイルス感染の影響により今年度は実施できず ・今後年に数回の実施を検討している
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者からの申し出をミーティング等で速やかに指導員全員に情報共有を行い、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月お便り配布を行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・言葉だけでなく視覚情報等、活用できる様々な手段を検討して用いるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		・地域住民を招待するような行事は行っていないため、今後検討してみたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・年1回指導員研修で行っている。 ・保護者には契約時に伝えている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・事故等に繋がり兼ねないと、スタッフの一人でも感じた場合迅速に情報共有を行い、必要に応じて作成し、再度共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	50%	50%		・ミーティング等で話はしているが、研修までは行っていないため、今後の研修に組み込むよう検討したい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。